

環境落語の出前授業

落語家の林家時蔵さん

12月16日から18日にかけて、町内の各小学校で落語家の林家時蔵さんによる「環境出前落語」が行われました。

これは、環境教育に生かそうと町と町教育委員会が全国モーターボート競走施行者協議会の助成を受けて開いたものです。

17日、林家さんは飯野小学校で落語を披露。音楽室に設けられた高座で、地球温暖化問題やダイオキシン問題、ごみのリサイクルなどについてユニークな切り口で子どもたちを楽しませました。

また、子どもたちは、林家さんからふろしきを使った「エコバッグ」の作り方も教わりました。



◀ユニークな環境落語を披露する林家時蔵さん



初めて生の落語を楽しみました▶



「エイ！ヤーツ！！」練習にも気合が入ります

自分の身は自分で守る

護身術子ども教室

12月13日、町総合体育館で「護身術子ども教室」が開催されました。この教室は、空手道空心会益城支部(土田克己師範、上小谷)が、文化庁や町教育委員会の支援を受け、昨年8月から今年1月までの間、町内小中学生を対象に全10回行っているものです。

同教室では、子どもたち用にアレンジした護身術を身に付けさせ、「不審者から自分の身は自分で守る」を合言葉に礼儀を重んじた厳しさの中にも、簡単なゲームを取り入れ、楽しい指導を行っています。

この教室は無料で、22年度も定員50人の子どもたちに開催される予定です。

問い合わせ先 土田克己師範 ☎ 286-4071

長年の音楽奉仕に緑のリボン賞

うらた剛さん(辻団地)

長年にわたり、社会奉仕活動や地域の環境美化活動に取り組む人々に贈られる第100回熊日緑のリボン賞を1月9日、シンガーソングライターのうらた剛さん(本名・浦田剛敏さん、辻団地)が受賞しました。

浦田さんは、ミュージックボランティアとして県内外の老人ホームなどで公演し、入所者のみなさんに心のこもった音楽を届け続け、平成14年6月から昨年10月までに500回の活動を行ってきました。

うらたさんは「500回は通過点。1,000回、2,000回を目指して、これからも夫婦で力を合わせ、地域社会に貢献していきたい」と意欲を見せていました。



住永町長に受賞を報告するうらた剛さん(右)



「九州大会もがんばります!!」

8人制サッカーで九州大会へ

F.C. ビッグウェーブ

12月18日、宇城市で開催された熊本県チビリンピック小学生8人制サッカー大会で、本町のF.C. ビッグウェーブ(梶原一泰監督)が準優勝に輝き、1月16、17日に大分市で開催される九州大会に出場することが決まりました。(各県2チーム、全16チーム出場)

同チームは、小学3・4年生の男女18人で構成されており、そのうち12人が町内に住む子どもたちです。

1月7日に役場を訪れた子どもたちは、住永町長の激励を受けました。メンバーの一人、河村颯真君(広崎4町内)は「みんなで力を合わせて、優勝を目指してがんばります」と頼もしく話していました。